



恥ずかしかったけど、誇らしくもあった  
一生忘れられない体験を書きました

おのちゅうこうふるさと文学賞  
中学生作文の部 最優秀賞

高橋 寿里くん(白沢町高平)  
Hisato Takahashi

YOROZU  
よろずとーく 59  
TALK

今年で8回目を迎えた「おのちゅうこうふるさと文学賞」。ふるさとの自然や歴史、学校や地域の行事などに参加して感じたこと、家族や友達と体験したことなどを題材とした詩と作文を利根沼田の小中学生から募集し、1021編の作品が寄せられた。「自転車で行ける所まで行ってみよう」と目的もなく出掛けた旅でした。怖かったり、痛かったり、恥ずかしかったりもしましたが、遠くまで自分たちだけで行けたことが少し誇らしくもあって、この微妙な心境を作文に書きました。

高橋くんは、一昨年の春に友人のT君と出掛けた自転車の旅

での体験をユーモアたっぷりに書き、中学生作文の部で最優秀賞を受賞した。

「作文を書くことは好きですが、賞をいただくのは、初めてでした。受賞を聞いたときは、びっくりしましたが後からうれしさが込み上げてきました。この旅のことは、一生忘れることができないと思います」

中学校生活も残りわずかとなり、受験勉強に追われながらも充実した日々を過ごせていると話す高橋くん。

「中学校生活では、さまざまなことに挑戦することができました。充実した3年間を送れたので満足しています。4月から高校生になりますが、勉強がとにかく大変と聞いています。今は少し不安ですが、将来の夢に向かって努力していきたいです」

おのちゅうこうふるさと文学賞  
表彰式

とき 3月3日(土)午後1時  
ところ 白沢町振興局3階多目的ホール

- 入賞者の表彰
- 最優秀賞受賞者の作品朗読
- 平出子ども歌舞伎上演

今年の飛躍を誓う  
賀詞交歓会  
1月5日(木)

新春恒例の賀詞交歓会が、ホテルペラヴィータで開催されました。市内外から各種団体の代表者など約250人が出席し、新しい年の始まりを祝うとともに、お互いの飛躍を誓い合いました。開会前には、邦楽協会会長・岡嶋稜子さんによる日本舞踊が披露されました。



地域の交通安全のために  
交通指導隊初点検  
1月10日(火)

交通指導隊(大和行男隊長)の初点検が、市役所駐車場で行われました。厳しい寒さの中、隊員30人が出席して、手帳や警笛など装備の確認を行いました。また、市内で行われるさまざまなイベントでの活躍と地域の交通安全を守っていくことを誓いました。

ぬまたフオーヤンぽ



鎧姿で疾走! 特産品や足湯でPR  
新宿シティーハーフマラソン・区民健康マラソン  
1月15日(日)

新宿シティーハーフマラソン・区民健康マラソンが東京国立競技場で行われ、星野市長らが段ボール製の鎧姿で走り、真田氏ゆかりの沼田市を紹介しました。明治公園イベント会場では焼きまんじゅうやリングゴなどの特産品販売、足湯コーナーが人気を集めました。

市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

われら いきいき サークル 220

発知水墨の会 (会員数22人)

代表 阿部完一郎さん  
(連絡先 ☎ 9075・阿部恒雄さん)



発知水墨の会は、公民館水墨画教室の受講生と以前から活動していた竹山会の皆さんが集まり、平成11年4月に発足しました。水墨画を通じて、伝統美術への理解を深め、その魅力を伝えるために活動しています。区民文化祭や会員の作品展に向け、親睦を図りながら互いの技術向上を目指して練習しています。毎月第3水曜日(時間は季節で変わります)に中発知町と上発知町生活改善センターで活動していますので、興味のある人はご連絡ください。